

学校通信

2021年 10月19日
みやこ町立豊津中学校
校長 吉田 武志

緊急事態宣言が解除され、日常が少しずつ戻りつつあります。学校では、延期していた「体育大会」を、昨年と同様に発表会として、規模や内容を見直して開催しました。短い期間での取り組みでしたが、職員の指導のもと一生懸命に練習に臨み、精一杯に競技・演技する生徒の姿に感動しました。ありがとう！次は、今週末の「文化発表会」です。これから、発表に向けての準備が大詰めを迎えることと思います。クラスで協力し、つくり上げてください。期待しています。

体育発表会 10/15 ～全力の姿と心のこもった応援～

さわやかな秋晴れのもと、生徒会長・体育委員長の「練習の成果を發揮し、精一杯頑張ろう」の開会のあいさつの後、①100m走、②タッチダウン、③ブロック対抗リレー、④応援演舞を、赤(1組)と青(2組)の団に分かれて行いました。全力で競技に臨む姿、心を込めて拍手で応援する姿に、すがすがしさと温かさを感じる体育発表会でした。中でも、3年生による応援演舞は、短期間にもかかわらず高い完成度で、最上級生の意地と誇りも感じました。以下は、委員長・団長の感想です。

保健体育委員長：全校生徒一人一人が体育発表会に全力で取り組むことができたと思います。3年生は、短い時間の中で工夫してクラスの仲間と練習に取り組み、本番では赤も青も素晴らしい演舞をすることができました。

赤団長：クラスの仲間が振りや声出しを妥協せず、全力で頑張ってくれたので本番では最高の演舞を披露することができました。練習で不安だったところも上手くできたのでとてもうれしかったです。

青団長：演舞は練習時間が少なく本番までに間に合うか不安だったけど、間に合うことができてよかったです。1年生と2年生も最後まであきらめず応援してくれたので、演舞も全力でできました。



キックボールをキャッチ



ゴールを目指して



赤団の演舞



青団の演舞

さて、3年生はこれから進路実現に向けて、受験勉強が本格化してきます。進路先はそれぞれですが、進路実現には家族はもとより、先生や級友の支えが必要です。ある意味で集団競技です。応援演舞で培った団結力で乗り切ってください。

文化発表会 10/22 ～持続可能な世界を創るには・・・～

今年の文化発表会は、①町英語スピーチコンテスト入賞者のスピーチ、②SDGsの取り組み発表(全クラス)、③吹奏楽部の演奏を、各教室に設置しているマックスハブ(モニター65型のPC)で視聴します。以下は、生徒会長、文化放送委員長の文化発表会にかける思いです。

生徒会長：今年度の文化発表会はSDGsについて調べています。各クラスそれぞれの(開発)目標について調べているので、この発表が自分たちに何ができるか考えるきっかけになってほしいと思います。

文化放送委員長：文化祭に向けて、私たちが取り組んでいるSDGsについて、自分たちにも関係のあることであるということを知ってほしいと思います。当日を通してより考えを深めてほしいです。

学級で選択したSDGs	学級で取り組むこと
 10 人や国の不平等をなくそう	1-1 お互いの良さを認め合うために、帰りの会でよいところを伝え合う
 12 つくる責任 つかう責任	1-2 食品ロスをなくすために、給食の完食を目指す
 14 海の豊かさを 守ろう	2-1 ペットボトルの使用量を減らすために、水筒を使う
 15 陸の豊かさも 守ろう	2-2 紙の無駄遣いをやめるために、トイレットペーパーやノートを大切に使う
 11 住み続けられるまちづくりを	3-1 地球温暖化を防ぐために、照明やエアコンをこまめに消すなどの省エネを心がける
 16 平和と公正を すべての人に	3-2 仲間とのきずなを深めるために、行事に全力で取り組む

SDGsについて
貧困、紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇・・・

人類が直面する課題。人類が安定してこの世界で暮らし続けるために、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てた。それが「持続可能な開発目標(SDGs)」である。17の目標があり、全世界の人々が、「だれ一人取り残さない」をキーワードに、それぞれの立場から目標達成のための行動が求められている。